

「民都・大阪」フィランソロピー会議に分科会を設置し、
 大阪で活躍する多様な主体に共通する課題の解決につながる新たな仕組みづくりなどの検討を行う
 社会的課題の解決につながる従来とは異なる新たな手法や、複数の社会的課題の解決につながる
 新たな連携などについて検討を行う

まず、「大阪・関西発！コレクティブ・インパクトへの挑戦！！」をテーマに、「資金」「人材」「情報」の
 分科会を設置し、それぞれの課題分析や優先課題の抽出を行う

（コレクティブ・インパクト：行政・企業・非営利セクター等が、分野・組織の壁を越えて連携し、社会的課題の解決を目指すアプローチ）

	リーダー	検討内容のイメージ
資金分科会	大杉 卓三 大阪大学特任准教授	大阪の非営利セクターに、どのように新たな資金の流れを生み出すか （ふるさと納税、ファンドレイジング、クラウドファンディング、社会的投資、 遺贈、休眠預金への対応など）
人材分科会	佐々木 利廣 京都産業大学教授	非営利セクターにおける人材の高齢化や後継者不足などの状況を踏まえ 人材をどのように確保・育成するのか。多様な主体によるネットワーク をどのように形成するか
情報分科会	中野 秀男 帝塚山学院大学特任教授	ICT等を活用した非営利セクターにおける効果的な情報の発信・共有 手法をどのように構築し普及させていくか。また、ITボランティアなどの新 たな人材や市場をどのように生み出していくか

分科会は、原則、リーダーの自主的な運営に委ねる

（分科会の共同開催や公開での開催など、連携共有を図りながら、できるだけ幅広く議論を進める）

分科会等の検討状況は、適宜、各リーダーから「民都・大阪」フィランソロピー会議に報告する

今後の進め方(イメージ)

- ・H30年2月 「民都・大阪」フィランソロピー会議において分科会の設置承認及びリーダー選任
- ・H30年5月頃 各分科会の検討の方向性を示し、本格的な検討を開始
- ・H30年度末頃 分科会の検討成果の取りまとめを行い、対外的に発信